



# College report

vol.27  
2022.12

## 東京聖栄大学報



### ● C O N T E N T S ●

### 聖栄葛飾祭

理事長・学長メッセージ／大学トピックス……………	2	地域共創／食育活動……………	10
学友会の活動……………	3	後援会／聖栄会／人事……………	11
管理栄養学科の活動／食品学科の活動……………	4・5	令和3年度決算報告……………	12・13・14
研究関連……………	6・7	附属わたなべ幼稚園／附属調理師専門学校……………	15
学生支援センター……………	8・9	大学トピックス／学生募集要項……………	16

## 理事長・学長メッセージ



### 建学の精神に期待

理事長・学長 田所 忠弘

コロナの影響が続く最中、世界情勢への不安や資源・エネルギー価格の上昇に伴う日本経済全体の鈍化が我々の生活自体へ大きく影響し始めた2022年末を受け、これまでとは異なる新たな視点や観点、発想の転換対応が今後求められ始めている現状かと思えます。

さて、社会が大学教育に期待する視点からは、多様性と持続的維持への発想の思考転換可能な学生を輩出してもらいたい旨の発信が「新しい時代に対応した大学教育改革の推進—主体的な学修を通じた多様な人材の育成に向けて—」として経団連から提言されています。幅広い知識や技能、専門能力の学修を通じて探究力や社会課題の解決能力を涵養することで、新たな時代を牽引する人材や、社会の中核で活躍する人材を育成・輩出することが重要と述べており、卒業後の自分の在り方を模索している学生にとって特に、DXやGXが急激に進展する中、イノベーションを起こせる人材や新たな価値を創造できる人材、グローバル・リーダーとなりうる人材が求められている点について大いに参考になるのではないかと思います。

現在、世界全体を見ると正確な数字ではありませんが、恐らく3万ほどの大学が存在し、その内、日本は790校263万人の学生数とのこと、世界全体から見れば約3%を占める大学が日本に存在し、世界のグローバル・リーダーとしての期待感も寄せられているかと思えます。本学もその一翼を担うとの使命感から人材育成教育はどうあるべきかを考えるとその任は当然大きいと思えます。

学生の能力・適性、進路等に応じた教育が安心して受けられることは無論のことながら、社会の要請に充分応ずることが出来る本学の建学の精神「自立できる知識と技術」、「強い向上心と真摯な行動力」を間違いなく備えた卒業生を輩出できるよう改めて人材の育成について教職員を始め、多くの卒業生も参加しながら皆が一体化、一丸となって「食」の専門分野人材教育に持続的に実施、取り組んで頂ければ誠に幸いです。

## 大学トピックス

### 田所理事長・学長、荒木学部長の表彰受賞について

田所忠弘理事長・学長は、令和4年度葛飾区自治功労者表彰式（R4.11.10）において、葛飾区長からの「特別表彰」を受賞されました。表彰は、「かつしかの元気食堂推進事業」において、食と栄養の学識をベースとして、構想当初はガイドライン策定検討委員会会長として携わり、事業開始後はその実施と拡大展開に努め、10年間にわたり、葛飾区民の健康増進に尽力したこと、及び、葛飾区と学校法人東京聖栄大学が締結した包括連携協定に基づく多くの連携・協働事業の実施・推進に多大なる貢献をしたことが評価されてのご受賞です。

また、荒木裕子理事・学部長は、令和4年度食生活文化賞授与式（R4.11.11）において、一般財団法人日本食生活文化財団理事長からの「食生活文化賞 教育功労賞」を受賞されました。表彰は、食品学を中心とした長年に亘る教育・研究活動を通じて、多くの「食」に関わる人材育成に顕著な実績をあげたこと、及び、福島県疔町からの依頼に基づく同町特産品の開発等を通じた被災地支援活動、防災食・冒険食の研究開発などにも熱心に取り組み、日本の食文化向上に大いに貢献したことが評価されてのご受賞です。

両先生のご受賞に対しては、令和4年11月17日教授会の席上において、教員親睦会から祝福の花束贈呈が行われました。



教授会での写真



## 学友会の活動 令和4年度 聖栄葛飾祭

### 学友会会長メッセージ

学友会会長の平澤勇人です。コロナ禍の中ではありましたが、大学祭を2日間（11月5日、6日）にわたり無事に開催することができました。今まで、行事等の運営の経験がなかった私たちは、開催に向けた必要な準備や学生間の調整方法等、私たちに考え試行錯誤を繰り返しながら行いました。コロナウイルス感染症拡大防止の対策により、企画内容や来場者等の制約があるなかで、大学祭という行事を通じて、教職員の先生方にご指導・ご協力頂きながらも、無事に成し遂げられたことは、私たち学生にとって有意義な機会となったと思います。ご協力頂いた皆様に、学生代表として感謝を申し上げます。



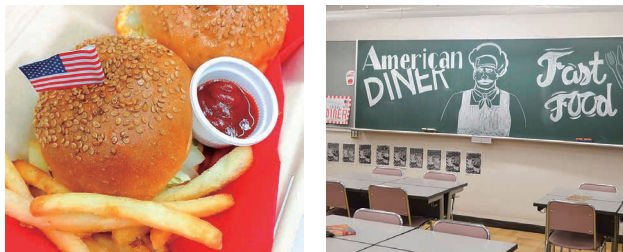
### 今年度の大学祭テーマ 「再出発～ Connecting people with food ～」

3年ぶりの大学祭であり、今までの文化・伝統をもとに「再出発」をしたいという願いを込めて考えました。また、サブタイトルに、新型コロナウイルスで規制はあっても、食というツールで一致団結しようという思いも合わせました。

### 学友会企画として4つの企画を行いました。

#### 特別企画（ハンバーガー）

アメリカンダイナーをコンセプトとした雰囲気のお店で、小さく女性が食べやすいサイズのハンバーガーを4種類を提供しました。



#### 食品学科企画（加工食品）

ジャムやマドレーヌ、パウンドケーキ等の加工食品の販売を行いました。特にイチジクジャムが季節限定であったため、一番人気でした。



#### 管理栄養学科企画（縁日）

焼きそば等の販売や縁日、カジノ等の催し物を企画し、射的や千本釣り等大人や子どもみんなが楽しめる内容でした。



#### 学友会レストラン

学友会レストランは、大学祭において伝統のある企画です。学生が自らメニューを考案し幾度も試作を重ね、自信作を披露しました。今年のメニューは、松花堂弁当、カレーライス、ビビンバ丼でした。



### 各学科企画

教員の学科企画として、身体測定やパラリンピック競技のボッチャ、都道府県の郷土料理（5ページ参照）の展示等を行いました。



## 管理栄養学科の活動

### 葛飾区施設「にこわ新小岩」オープニングに伴う食育講座

葛飾区が開設した「にこわ新小岩」が令和4年7月23日にオープンしました。様々な年代の区民が利用できる複合施設です。オープニングにあたり、小林陽子教授による講座「幼児の食事、困りごとにはこんな工夫を！」佐藤ひろ子准教授による講座「高齢者の元気は質の良い食事から」を行いました。



### 「かつしかの元気食堂推進事業」オンライン講座

「かつしかの元気と健康は食生活から」をテーマに、令和4年6月から令和5年1月まで、区の公式YouTubeチャンネルで視聴できる講座を実施しています。

野菜量を増やす工夫、献立の工夫、外食・中食を利用する際の留意点、減塩法、がん予防の生活習慣、高齢者の食事と運動、子どもの好き嫌いをテーマに管理栄養学科の教員8名が担当しました。



高齢者の食事と運動の様子

### 臨地実習報告会（事業所実習）

令和4年10月29日に16期生（3年次生）による臨地実習報告会を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、各給食会社とクライアント先や附属幼稚園のご協力で、対象学生全員が現場での臨地実習を行うことができました。

報告会では、各施設での実習内容や研究課題の報告と、質疑応答を通して、同学年に加えて次年度の対象学年の17期生も、ともに理解を深める機会となりました。



### かつしかの元気食堂（イトーヨーカドーでのお弁当販売）

かつしかの元気食堂のメニューとして、16期生が開発した「長芋入り秋の恵みドリア」と「ごろっとチキンと野菜の欲張りスープカレー」が、北海道を除く全国のイトーヨーカドーで令和4年11月15日～27日の期間に販売されました。

開発した学生を中心に、イトーヨーカドーアリオ亀有店での販売実演も行いました。

販売された2品を含む12のメニューが掲載されたカレンダーが、「葛飾区 元気食堂推進事業」で検索したページからダウンロードできます。



## 研究室紹介

### 栄養教育研究室 高橋 美恵子 准教授

今年4月より栄養教育研究室に在籍しています。これまで病院の管理栄養士として勤務してきましたので、栄養食事指導の経験を活かし、栄養教育の実践のおもしろさや難しさなどを伝えていきたいと思います。今後は、より効果的で効率的な栄養教育について研究していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



### 給食経営管理研究室 柴田 隆一 助教

風見公子教授の給食経営管理研究室に、今年度より助教として配属になりました。

本研究室は、給食経営管理論の中でも、メニュー開発と栄養教育を中心にアスリートに特化したお弁当の開発や附属の幼稚園の園児を対象に食育活動などを行っています。

ゼミ活動では、15期生9名、16期生12名が在籍しており、他大学の学生アスリートの栄養教育などに携わっています。

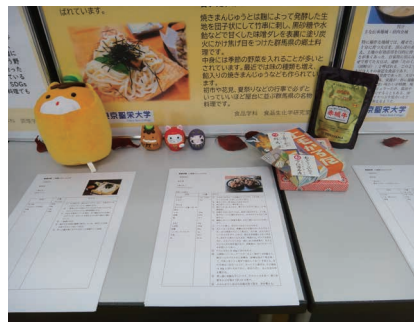




## 食品学科の活動

### 大学祭において食品学科展示企画を行いました。

大学祭2日間を通じて、学科企画による出展内容は、ゼミ単位に都道府県別の郷土料理・ご当地グルメのポスターを作成し、料理レシピを添えて展示しました。また、類似の食材や調味料を並べ、食品に関するクイズコーナーを設け、参加者の中から正解率の高い方には景品を用意するなど、食品学科の魅力を伝える取り組みを行いました。この展示企画は、コロナ禍以前からの取り組みで継続企画として行っています。



### 福島県塙町を訪問（東日本大震災復興支援活動）

令和4年11月9日、食品学科の学生7名・教員8名が受託研究に取り組んでいる福島県塙町を訪問しました。当日は農家での収穫体験や農産物について学び、道の駅内で運営するレストランでの新規メニュー開発に対しての意見交換を行いました。また、農産物の放射能検査場などの見学を通じて、現在の風評被害に関する対策を間近に感じる機会となり、とても充実した訪問活動となりました。



## 研究室紹介

### 調理学研究室 吉田 光一 准教授

「学ぶ」だけでなく、「考え、実践できる」を目標とし何事にも参加し、実行する力をつけ「美味しいとは何か」美味しい料理を表現するために調理を科学的に考え、実践する力を身につけられるように活動しています。また、調理技術研修生は、このゼミを拠点に調理師免許資格取得を目指します。



## 研究関連

### 科研費 KAKENHI

科学研究費とは、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、文部科学省及び日本学術振興会が取り扱っています。

#### ○真空包装による野菜の調味効果と組織構造との関連性および新規利用法について

若手研究 研究代表者：熊谷 美智世准教授

真空包装とは包装材に食品などを入れて包装内部を吸引脱気して密封する方法です。保存を目的に行われるほか、加熱をともなう真空調理にも用いられています。真空調理の特徴の一つとして味がよくしみ込むといわれていることから、真空包装後と加熱後に分けて調味料濃度を調べたところ、真空包装後においては常圧包装後よりも有意に味がつくことがわかりました。野菜に調味するためには加熱などにより細胞膜機能を消失させる必要がありますが、真空包装ではその必要がないことから、生の状態の食感を失うことなく調味可能であると考えられます。そこで、本研究では真空包装による調味の現象を種々の野菜について調べ、そのメカニズムを解明するとともに、新たな調理法としての活用法を検討します。

#### ○「筋・血液を介した身体活動誘発性miRNAががんの発症やがん患者の余命に与える影響」

基盤研究 (C) 研究代表者：膳法 浩史講師

運動をはじめとする習慣な身体活動が「がん」を予防することは知られていますが、そのメカニズムについては不明なままです。本研究は、ヒトの体内で作られているマイクロRNA (miRNA) という分子に注目し、日本人における身体活動誘発性miRNAががんに与える影響を検討します。「なぜ、身体活動ががんに効果的なのか？」を明らかにできれば、国民に対する更なる運動の推奨と、運動を模擬した創薬の開発が期待されます。

#### ○「超音波動画像と筋電図と嚥下音を用いた非侵襲計測による嚥下評価のための装置開発研究」

基盤研究 (B) (一般) 研究分担者：谷本 守正教授 (代表：鈴木 裕 東洋大学准教授)

超高齢者社会を迎える日本において、高齢者の死因第1位は肺炎であり、その多くが誤嚥性肺炎に起因します。しかし現状、嚥下機能を非侵襲（身体に負担をかけない）で計測できるシステムは存在せず、検査は患者様の負担が大きいものです。そこで本研究では嚥下超音波動画像と嚥下音と頸部筋電図の3種信号を同時採取し各種解析・手法で嚥下能力の計測装置の研究開発を行い次代の医療機器としての実現を目指します。この実現のためには、以下ABCの各研究班の深いつながりとお互いのフィードバックにより実施されます。A：超音波動画像、嚥下音、筋電図同時計測による非侵襲嚥下評価システムの開発研究 B：実験用嚥下評価用食材の開発、誤嚥防止フードデザインへの考察 C：新しい評価法の臨床評価と各種嚥下評価法の有効性の考察 私は主にB研究班の遂行に励み、高齢になってもいつまでも美味しいものを食べられる食品の開発につなげます。

#### ○「瞬発系・持久系トップアスリートに特徴的な遺伝子多型・変異の同定と機能解析」

基盤研究 (B) 研究分担者：膳法 浩史講師 (代表：福 典之 順天堂大学准教授)

ヒトの体力には大きな個人差があり、遺伝と環境の両方が関与しています。環境的要因は、トレーニングや栄養などの影響がわかっていますが、遺伝的要因についてはよくわかりません。双子研究や親子研究によると、筋力の個人差は遺伝と環境が約50%ずつ関与しているようです。

本研究は、具体的にどのような遺伝子とその個人差に関与しているかを明らかにします。具体的には、①トップアスリートの瞬発系・持久系運動能力に関連する遺伝配列の違い（遺伝子多型・変異）を同定し、②その遺伝子多型・変異によって調節される遺伝子の機能的役割を明らかにします。

#### ○初等・中等教育家庭科における「だし教育コンテンツ」の開発と活用

基盤研究 (C) 研究代表者：福留 奈美准教授

「だし」は和食文化を特徴づける重要なキーコンテンツのひとつです。小学校家庭科では、これまでも5年生のみそ汁を作る調理実習でだしを取ることをしてきましたが、新しい学習指導要領（平成29年告示）では「和食の基本となるだしの役割」が明記され、「だし」をどう教えるかが問われることになりました。しかし、だしの取扱いに関する教師研修の機会も教材研究のための情報蓄積も不十分な現状があります。そこで、本研究では、だし教育のためのさまざまな教育コンテンツ（たとえば教材として使いやすい図表や各種データ、動画、ワークシート、活動アイデアなど）を開発し、現場教師の意見を反映して改良を加え、だし教育コンテンツのモデルとして情報公開し提案することを目指しています。



## 令和4年度 受託研究 一覧

No.	研究責任者	研究課題名	委託者
1	宮内 眞弓 教授	「かつしかの元気食堂」推進事業に関する研究	葛飾区
2	風見 公子 教授	長期に継続して乳和食または和食を摂取した女子バレーボール競技者の体幹、下肢筋力、骨格筋、疲労感などに対する影響、介入研究	牛乳乳製品健康科学会議 一般社団法人 Jミルク
3	北村 義明 教授	塙町道の駅レストランの運営状態の改善における新規メニューの開発と、その周辺問題の解決に向けた取り組み	一般財団法人天領の郷 はなわ
4	熊谷美智世 准教授	コマツナにおける夏季高温期の遮光の有無が食味に及ぼす影響	公益社団法人 東京都農林水産振興財団

## 特別研究・共同研究発表会

令和3年度特別研究・共同研究発表会を令和4年6月18日（土）に実施しました。  
今年度も新型コロナウイルス対策の為、オンライン形式での開催となりました。

No.	代表申請者	研究別	研究課題名
1	福田 亨 教授	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明
2	大塚 静子 准教授	共同	高タンパク質・高脂肪食摂取がラットの腎臓石灰化に及ぼす影響について
3	片山 佳子 教授	特別	落花生味噌の機能性
4	風見 公子 教授	共同	食欲の抑制の研究 食事のたんぱく質エネルギー比率の相違で食欲に相違がみられるか
5	北村 義明 教授	共同	匠の調理技術が調理・加工食品の機能に及ぼす影響に関するフィージビリティスタディー
6	風見 公子 教授	共同	幼児期の食生活習慣について
7	小林 陽子 教授	特別	葛飾区との協働による「元気な食応援店（旧食育サポート店）」における情報発信に関する研究

## 令和4（2022）年度 特別研究・共同研究

本学教育研究取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。本年度の特別研究・共同研究計画申請について以下の表の通り採用決定しました。

### 令和4年度 特別研究・共同研究計画申請者一覧

No.	代表申請者	研究別	研究課題名
1	風見 公子	共同	幼児の食生活習慣について
2	小林 陽子	特別	葛飾区との協働による「元気な食応援店」における情報発信に関する研究
3	福田 亨	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明
4	大塚 静子	共同	高タンパク質・高脂肪食摂取がラットの副腎石灰化に及ぼす影響について (2)
5	膳法 浩史	特別	日本人における骨格筋由来血中マイクロRNAの検出
6	宮内 眞弓	共同	南葛 SC サッカー選手等に対する栄養管理の支援

# 学生支援センター

## 令和4年3月卒業生就職結果

第14期生（令和4年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、学部合計で98.0%となりました。学科別には、管理栄養学科が100.0%、食品学科が95.6%となりました。

管理栄養学科の卒業生は、管理栄養士として公務員、医療・福祉施設や給食受託会社、薬局等に勤務する者が多く、食品学科の卒業生は、食品会社の研究・技術部門や営業・販売部門に就職するなど卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しています。卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

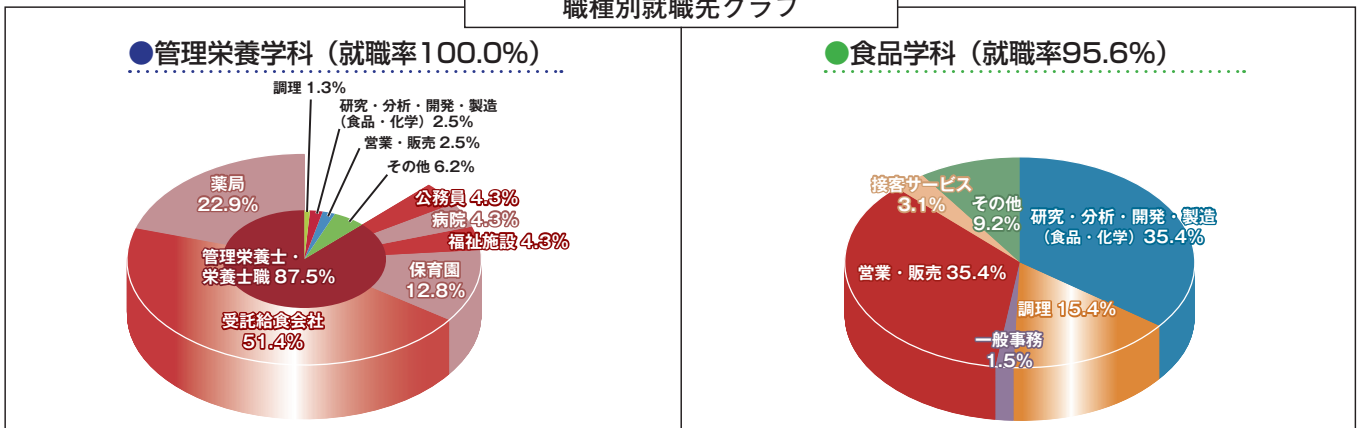
<卒業生数と就職者数>

	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率(%)
管理栄養学科	83	80	80	100.0
食品学科	75	68	65	95.6
合計	158	148	145	98.0

【卒業生 158人 / 就職希望者数 148人 / 就職決定者数 145人】

## 第14期生（令和4年3月卒業生）の就職状況（就職率98.0%）

職種別就職先グラフ



## 主な就職先

### ■管理栄養学科 <管理栄養士・栄養士職等>

公務員	神奈川県 学校栄養職員（非常勤） / 戸田市 学校栄養職員（非常勤）
病院	公立学校共済組合 関東中央病院 / (医) 恵仁会 府中恵仁会病院 / (医) 盡誠会 宮本病院
福祉施設	(社福) 嬉泉 / (社福) 正吉福祉会 / (社福) 日翔会 特別養護老人ホーム華つばき
受託給食会社	エームサービス(株) / (株)グリーンハウス / コンパスグループ・ジャパン(株) / シダックス(株) / 日清医療食品(株)仙台支店 / 富士産業(株) / (株)ベネミール / (株)ミールケア / (株)メフォス / (株)レバスト / (株)LEOC 他
保育園	(株)さくらさくみらい / (学) 信栄学園認定こども園聖佳幼稚園 / (社福) なぜの木会 / (社福) 東中川会 / (社福) 日の出福祉会 クルななかよし保育園 他
薬局・ドラッグストア	(株)くすりの福太郎 / (株)ココカラファイン / (株)セキ薬品 / (株)千葉薬品 / (株)ツルハ / (株)富士薬品 他
その他	(株)江東微生物研究所 / (株)武蔵野

### ■食品学科 <一般企業等>

研究・分析・開発・製造（食品・化学）	旭酒造(株) / イニシオフーズ(株) / (株)キヨシミ製菓 / (株)江東微生物研究所 / (株)小善本店 / 壽食品工業(株) / (株)サンデリカ / 宝醤油(株) / (株)東京めいらく / トオカツフーズ(株) / (株)中村屋 / フジフーズ(株) / (株)ボンパドウル / (株)八千代ポトリ / 山崎製パン(株) 他
営業・販売	アルフレッサメディカルサービス(株) / (株)こだわりや / サミット(株) / (株)サンベルクス / タイヘイ(株) / (株)プレミアムウォーターホールディングス / (株)ボンパドウル / (株)マルエツ / (株)洋菓子舗ウエスト 他
調理・接客サービス	(株)DDホールディングス / イートランド(株) / カッパ・クリエイト(株) / (株)はなまるフードサービス / (株)平城苑 他

## 令和5年3月卒業生就職内定状況

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、採用活動のWEB化が進むなど、学生は多様な採用選考に対応することが重要となりました。

本学の4年次生の就職内定状況（11月15日現在）は、学部合計で80.0%（昨年度77.5%）でありました。学科別には、管理栄養学科が82.3%（昨年度84.8%）、食品学科が76.8%（昨年度69.4%）でした。「食」に関する企業を志望する学生が多い本学として、適任者からの指導・助言体制を強化するため、就職支援アドバイザー2名を配置しており、個別にオンラインや対面での面談を行うことができます。今後も就職未内定者に対し、継続して個別に就職支援を行っていきます。

## ■令和4年度卒業生主な内定企業等

（令和4年11月15日現在）

<管理栄養士職>	<一般企業>
【公務員】東京都職員（I類B）栄養士	イニシオフーズ(株)
(独) 国立病院機構関東信越グループ	(株)オランダ家
新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院	(株)サンデリカ
社会医療法人社幸会 行田総合病院	(株)すかいらくホールディングス
エームサービス(株)	タリーズコーヒージャパン(株)
(株)グリーンハウス	(株)東武ストア
コンパスグループ・ジャパン(株)	日本クッカー(株)
シダックス(株)	(株)人形町今半
(株)マツモトキヨシ	プレミアムウォーター(株)
(株)メフォス	(株)ボンパドウル
(株)日本保育サービス	(株)八千代ポトリ
(株)LEOC	山崎製パン(株)



## 1～3年次生向けの就職支援

学生支援センターでは、学生一人ひとりに寄り添った就職支援を行っています。

就職活動が本格化する以前の1・2年次生向けの就職支援として、就職専門業者によるキャリアガイダンスを実施し職業意識をより向上する機会を提供しています。

3年次生向けには、多様化する採用選考に対応するため『履歴書・ES対策講座』・『インターンシップ対策講座』・『WEB選考マナー対策講座』・『オンラインディスカッション対策講座』等の就活準備の対策講座を実施しました。また、来年2月には『学内業界説明会（オンライン）』を開催予定しています。

公務員希望者に対しては、『公務員教養試験対策講座（オンデマンド形式）』を案内していますので、自宅でも試験対策を行うことができます。

就職希望の学生は、学内外のイベントに積極的に参加するなど自ら情報を取得する姿勢を大切にしっかりと準備を進めていただきたいです。



令和4年9月30日実施『秋冬インターンシップ対策講座』の様子

(対面：講堂、オンライン：ZoomでのLIVE配信、後日オンデマンド配信を行いました)

## 各種奨学金制度

### ○日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構の奨学金制度（貸与型・給付型）は、勉学に励む意欲があり、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対して教育を受ける機会を保障する国が実施している制度です。

申込時期は、「春期」と「秋期」の年2回あります。なお、災害等により家計急変された際の救済制度として「緊急採用・応急採用」があり随時申込が可能です。

奨学金制度利用する際には、「学力基準」および「家計基準」があり、基準を全て満たす必要があります。

### ○高等教育の修学支援新制度

高等教育の修学支援新制度は、大学等の高等教育における授業料や入学金の減免と日本学生支援機構の給付型奨学金による制度として2020年4月から始まりました。本学は文部科学省から支援対象校として認定を受けていますので、本学の学生は申請することができます。修学支援新制度における申請は、給付型奨学金『日本学生支援機構』、授業料等減免『大学（本学）』夫々手続きが必要です。申請に関する案内は、学内の奨学金説明会にて行っていますので、希望する際は説明会に出席してください。また、本制度の詳細は以下ホームページをご覧ください。

#### 【ホームページURL】

- ・文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度について」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/hutankeigen/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

- ・独立行政法人日本学生支援機構ホームページ「進学資金シミュレーター」（支援区分確認等）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>



各種奨学金に関するお問合せは、学生支援センターまで

## 地域共創・食育活動

### 南葛SCとの共同事業

南葛SCは、漫画『キャプテン翼』の主人公・大空翼が所属するチームと同名の社会人サッカークラブです。原作者である高橋陽一先生がクラブの代表を務め、“葛飾からJリーグへ”をテーマに活躍しています。本学と同じ葛飾区内であることから、南葛SCと共同事業を行っています。これまで、講演会や試合観戦、ボランティア参加などを介して選手達と交流を行いました。現在は、管理栄養学科3・4年次生が中心となり、社会人選手とジュニア選手向け栄養レシピの作成を進めています。また、聖栄葛飾祭では南葛SCの企画展示を行いました。



### NPO法人中・西会「ふれあい共食会」

本学とNPO法人中・西会の連携・協力に関する協定に基づく活動として、令和4年11月20日に高齢者の一人暮らし世帯等の方々を対象とした「ふれあい共食会」を、管理栄養学科の佐藤ひろ子先生とゼミ生、小林陽子先生とゼミ生により行われました。

コロナ禍の影響により、試食会を2年間中止していましたが、「フレイル予防は毎日の食事から」と題して、学生と一緒にフレンチトーストの試食や若者に伝えたい食事を、グループインタビュー形式で、交流する機会を設けることができました。コロナ禍を経て、学生とお話することが楽しかったと評判をいただき、大変有意義な活動となりました。



### かつしか区民大学「東京聖栄大学連携講座」に協力

葛飾区生涯学習課と本学食品学科との連携により実施することになった本講座。身近な調理の不思議や食品の面白さをサイエンスの視点で学んでもらおうというもので、対象は小学生とその保護者です。「調理の科学シリーズ ぷるぷるとろとろ固まる不思議 -夏のひんやりデザート-」と題して全5回(8月2、4、5、8、9日)行いました。



対面とオンラインのハイブリッド方式で開催

親子で協力しながらミカンミルクゼリーを実習



## 後援会の活動



後援会会長  
高島 眞一

新型コロナウイルス感染症の国内発生から2年半以上が経過していますが、全国旅行支援も開始され、ようやく消費活動や日常生活が戻りつつあります。10月15日には大学側と後援会の共催による東京聖栄大学の保護者会が3年ぶりに対面で開催され、全国から60名以上の保護者の方々にご参加頂き、担任の先生から日頃の学生の生活状況や学業成績等、活発な意見交換が行われたことは、誠に喜ばしい限りです。

新たな試練となったコロナ禍においても、初のオンライン授業や試行錯誤を重ねながらも、「食と栄養」のエキスパートを育て上げる教育機関としての役割を着実に果たしながら、今まで以上に学生への教育機会の提供や対話を密接に図られております。

後援会としまして、大学と学生の距離が近いアットホームな雰囲気大切にしながら、学友会活動や地域社会との共存共栄なども通じて、強力に応援してまいります。引き続きご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。

## 聖栄会の活動



聖栄会会長  
松崎 政三

今年度も新型コロナウイルス感染拡大は収まらず、11月に入り第8波に見舞われていますが、感染対策の取り組みも進み、在校生の皆さんの大学生活も日常に戻りつつあります。大学のイベントであります聖栄葛飾祭も3年ぶりに規模は縮小しましたが盛大に行われたことを嬉しく思います。聖栄会といたしまして、聖栄会ブースを開き卒業生の皆さんと在学生の皆さんに記念品をご用意させて頂きました。2日間にわたり多くの人にお立ち寄りいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。聖栄会の活動も一定の制約がありますが、対面による役員会を開催して、大学の行事へ積極的に参加しながら連携を推し進めてまいります。今後、在校生の皆様には、卒業生の活躍状況を知って頂く場を広げていきたいと思っております。

### 聖栄会の主な活動 令和4年度

- 4月 聖栄会だより発行 ○6月 定期総会 ○11月 聖栄葛飾祭参加協力
- 令和5年3月 東京聖栄大学15期卒業生に卒業記念品を贈呈
- 全体役員会年3回の開催予定（1月、5月、10月）

## 人事について (順不同 敬称略)

### 事務系

#### ■昇任

令和4年7月1日付  
法人総務部総務課主任  
(秘書室業務兼務)

上田 佳子

前：法人総務部総務課職員  
(秘書室業務兼務)

#### ■配置換え

令和4年7月1日付  
大学事務部入試・広報課

竹内 翔平

前：法人総務部施設管理課

#### ■採用

令和4年9月28日付  
大学事務部学務課(臨時)  
三枝 桐子

令和4年11月1日付  
大学事務部学務課  
伊従 紗也佳

#### ■退職

令和4年8月31日付  
大学事務部学生支援センター長  
兼学生支援・就職支援課長  
小田 義明

令和4年9月30日付  
大学事務部学務課  
秋元 真也

## 令和3年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

令和3年度の財務状況は、財政計画に基づき収入増、支出抑制の予算編成を行いました。事業活動収入は前年度比4,418万円減の12億4,997万円となりました。

支出については、新型コロナウイルス感染症対策は落ち着きつつあり、前年度比2,581万円減の13億1,849万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、6,852万円の支出超過（赤字）となり、3期連続の支出超過となりました。

## 1. 資金収支計算書

令和3年度の資金収支規模は、31億8,521万円となり、前年度より2億5,453万円増加していますが、有価証券の早期償還に伴う売買3億円超の増加が主な要因です。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は20億531万円、支出額は20億1,678万円となり、翌年度繰越支払資金は1,147万円減の11億6,843万円となりました。

資金収支計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで) (単位 千円)

	資金収支計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで) (単位 千円)			
	科目	予算	決算	差異
収入の部	学生生徒等納付金収入	954,040	955,260	△1,220
	手数料収入	18,843	19,038	△195
	寄付金収入	5,970	6,650	△680
	補助金収入	186,189	185,575	614
	国庫補助金収入	138,087	138,269	△182
	都県補助金収入	45,875	45,180	695
	区市補助金収入	2,227	2,126	101
	資産売却収入	784,284	784,284	0
	付随事業・収益事業収入	7,560	5,853	1,707
	受取利息・配当金収入	56,342	57,674	△1,332
	雑収入	17,890	18,078	△188
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	402,572	398,000	4,572
	その他の収入	15,490	15,686	△196
	資金収入調整勘定	△438,328	△440,789	2,461
	前年度繰越支払資金	1,179,905	1,179,905	
	収入の部合計	3,190,757	3,185,214	5,543
支出の部	人件費支出	729,371	728,468	903
	教育研究経費支出	291,952	287,975	3,977
	管理経費支出	90,252	91,174	△922
	借入金等利息支出	880	880	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	16,290	16,288	2
	設備関係支出	61,907	61,371	536
	資産運用支出	812,713	815,945	△3,232
	その他の支出	16,430	18,899	△2,469
	[予備費]	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△16,836	△16,438	△398
	翌年度繰越支払資金	1,165,578	1,168,432	△2,854
	支出の部合計	3,190,757	3,185,214	△5,543

## 2. 事業活動収支計算書

事業活動収入は12億4,997万円で、事業活動支出は13億1,849万円であり、基本金組入前当年度収支差額は6,852万円の支出超過（事業活動収支差額比率△5.5%）となり、基本金組入額4,661万円を控除した当年度収支差額は1億1,513万円の支出超過となりました。（基本金組入後収支比率109.6%）

その結果、翌年度繰越収支差額は9億873万円と支出超過額が増加しました。

事業活動収支計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで) (単位 千円)

	事業活動収支計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで) (単位 千円)			
	科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	954,040	955,260	△1,220
	手数料	18,843	19,038	△195
	寄付金	6,341	7,346	△1,005
	経常費等補助金	186,189	185,575	614
	国庫補助金	138,087	138,269	△182
	都県補助金	45,875	45,180	695
	区市補助金	2,227	2,126	101
	付随事業収入	5,660	3,940	1,720
	雑収入	17,890	18,078	△188
	教育活動収入計	1,188,963	1,189,237	△274
	事業活動支出の部			
	人件費	733,129	732,223	906
	教育研究経費	477,399	469,831	7,568
管理経費	98,765	99,282	△517	
徴収不能額等	1,678	1,678	0	
教育活動支出計	1,310,971	1,303,014	7,957	
教育活動収支差額	△122,008	△113,777	△8,231	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	54,386	55,045	△659
	その他の教育活動外収入	1,900	1,900	0
	教育活動外収入計	56,286	56,945	△659
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	880	880	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	880	880	0	
教育活動外収支差額	55,406	56,065	△659	
経常収支差額	△66,602	△57,712	△8,890	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	2,364	2,364	0
	その他の特別収入	1,632	1,422	210
	特別収入計	3,996	3,786	210
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	14,612	14,592	20
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	14,612	14,592	20
	特別収支差額	△10,616	△10,806	190
	予備費	6,000		6,000
	基本金組入前当年度収支差額	△83,218	△68,518	△14,700
	基本金組入額合計	△75,220	△46,608	△28,612
	当年度収支差額	△158,438	△115,126	△43,312
	前年度繰越収支差額	△793,607	△793,607	0
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△952,045	△908,733	△43,312	



### 3. 貸借対照表

令和3年度末の資産総額は1億1,052万円減の95億8,965万円です。固定資産は1億130万円減の84億725万円になり、流動資産は922万円減の11億8,240万円となりました。

負債総額は、借入金返済などで4,201万円減少し、8億288万円となりました。

純資産は6,852万円減の87億8,677万円となり、財政としては特に問題ない状況です。

貸借対照表 (令和4年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,407,247	8,508,549	△101,302
有形固定資産	5,125,840	5,250,620	△124,780
土地	1,889,389	1,889,389	0
建物	2,756,342	2,853,394	△97,052
その他の有形固定資産	480,109	507,837	△27,728
特定資産	597,323	564,091	33,232
その他の固定資産	2,684,084	2,693,838	△9,754
流動資産	1,182,405	1,191,627	△9,222
現金預金	1,168,432	1,179,905	△11,473
その他の流動資産	13,973	11,722	2,251
資産の部合計	9,589,652	9,700,176	△110,524

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	348,772	357,236	△8,464
長期借入金	24,440	36,660	△12,220
退職給与引当金	324,332	320,576	3,756
流動負債	454,108	487,649	△33,541
短期借入金	12,220	12,220	0
前受金	398,000	428,856	△30,856
その他の流動負債	43,888	46,573	△2,685
負債の部合計	802,880	844,885	△42,005

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	9,695,506	9,648,898	46,608
第1号基本金	9,557,506	9,520,898	36,608
第2号基本金	50,000	40,000	10,000
第4号基本金	88,000	88,000	0
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	△908,734	△793,607	△115,127
純資産の部合計	8,786,772	8,855,291	△68,519
負債及び純資産の部合計	9,589,652	9,700,176	△110,524

### 4. 財産目録

資産総額95億9,802万円の内訳は、基本財産52億3,660万円(54.6%)、運用財産40億5,264万円(42.2%)、収益事業財産3億877万円(3.2%)となっています。

また、負債総額8億918万円の内訳は、固定負債3億4,877万円、流動負債4億5,411万円、収益事業用負債630万円となっています。資産総額から負債総額を差し引いた正味財産は87億8,884万円で、前年度比6,844万円減となりました。

財産目録 令和3年度 (総括表) (令和4年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,598,016
内 基本財産	5,236,600
運用財産	4,052,643
収益事業財産	308,773
II 負債総額	809,176
III 正味財産	8,788,840

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	5,236,600
有形固定資産	5,125,840
土地	1,889,389
建物	2,756,341
構築物	27,033
教研機器備品	254,541
管理用機器備品	11,002
図書	181,508
車両	6,026
特定資産	50,000
第2号基本金引当特定資産	50,000
その他の固定資産	60,760
借地権	59,900
電話加入権	860
2. 運用財産	4,052,643
現金預金	1,168,432
定期預金	400,000
有価証券	1,913,749
差入保証金	9,166
退職給与引当特定資産	35,245
減価償却引当特定資産	512,078
未収入金	10,255
販売用品	53
前払金	3,562
仮払金	103
3. 収益事業用財産	308,773
土地	185,313
建物	104,581
構築物	160
長期前払費用	43
現金預金	18,654
短期前払費用	22
資産の部合計 (A)	9,598,016

負債額	
1. 固定負債	348,772
長期借入金	24,440
退職給与引当金	324,332
2. 流動負債	454,108
短期借入金	12,220
未払金	13,633
前受金	398,000
預り金	29,062
研修旅行費預り金	1,193
3. 収益事業用負債	6,296
前受金	1,296
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	809,176

正味財産 (A) - (B)	8,788,840
----------------	-----------

## 5. 5カ年連続事業活動収支計算書（旧：消費収支計算書）

平成29年度から令和3年度までの事業活動収支計算書は、別表のとおりです

### 5カ年連続事業活動収支計算書（令和3年度）

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		全国平均 医歯系を除く
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	
<b>(教育活動収支・収入の部)</b>											
学生納付金	1,094,484	76.0	1,088,310	81.0	1,047,364	81.7	1,005,247	77.7	955,260	76.4	72.8
手数料	20,328	1.4	21,066	1.6	17,727	1.4	13,928	1.1	19,038	1.5	2.3
寄付金	8,153	0.6	6,794	0.5	6,877	0.5	6,163	0.5	7,346	0.6	1.5
経常費等補助金	164,104	11.4	154,877	11.5	147,242	11.5	203,948	15.8	185,575	14.8	13.6
付随事業収入	11,658	0.8	11,189	0.8	9,140	0.7	6,546	0.5	3,940	0.3	3.1
雑収入	91,646	6.4	19,210	1.4	14,162	1.1	9,953	0.8	18,078	1.4	2.7
教育活動収入計	1,390,373	96.6	1,301,446	96.9	1,242,512	96.9	1,245,785	96.3	1,189,237	95.1	96.1
<b>(教育活動収支・支出の部)</b>											
人件費	837,000	58.2	725,369	54.0	725,771	56.6	747,764	57.8	732,223	58.6	50.7
教育研究経費	458,985	31.9	467,644	34.8	441,040	34.4	490,372	37.9	469,831	37.6	34.4
管理経費	122,802	8.5	110,772	8.2	112,248	8.8	102,167	7.9	99,282	7.9	8.0
徴収不能額等	0	0.0	2,583	0.2	660	0.1	0	0.0	1,678	0.1	0.1
教育活動支出計	1,418,787	98.6	1,306,368	97.3	1,279,719	99.8	1,340,303	103.6	1,303,014	104.2	93.2
<b>(教育活動外収支・収入の部)</b>											
受取利息・配当金	43,374	3.0	34,729	2.6	33,885	2.6	41,584	3.2	55,045	4.4	1.6
その他の教育活動外収入	2,500	0.2	3,000	0.2	3,000	0.2	2,800	0.2	1,900	0.2	0.2
教育活動外収入計	45,874	3.2	37,729	2.8	36,885	2.9	44,384	3.4	56,945	4.6	1.8
<b>(教育活動外収支・支出の部)</b>											
借入金等利息	1,760	0.1	1,540	0.1	1,320	0.1	1,100	0.1	880	0.1	0.1
その他の教育活動外支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.1
教育活動外支出計	1,760	0.1	1,540	0.1	1,320	0.1	1,100	0.1	880	0.1	0.2
<b>(特別収支・収入の部)</b>											
資産売却差額	0	0.0	931	0.1	694	0.1	2,602	0.2	2,364	0.2	0.8
その他の特別収入	2,968	0.2	2,907	0.2	2,497	0.2	1,379	0.1	1,422	0.1	1.3
特別収入計	2,968	0.2	3,838	0.3	3,191	0.2	3,981	0.3	3,786	0.3	2.1
<b>(特別収支・支出の部)</b>											
資産処分差額	14,751	1.0	9,801	0.7	32,606	2.5	2,889	0.2	14,592	1.2	1.1
その他の特別支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.3
特別支出計	14,751	1.0	9,801	0.7	32,606	2.5	2,889	0.2	14,592	1.2	1.4
基本金組入前当年度収支差額	3,917	0.3	25,304	1.9	△31,057	△2.4	△50,142	△3.9	△68,518	△5.5	5.2
基本金組入額合計	△71,138	△4.9	△68,223	△5.1	△100,492	△7.8	△85,224	△6.6	△46,608	△3.7	△10.4
当年度収支差額	△67,221	△4.7	△42,919	△3.2	△131,549	△10.3	△135,366	△10.5	△115,126	△9.2	△5.2
前年度繰越収支差額	△416,553	△28.9	△483,773	△36.0	△526,692	△41.1	△658,241	△50.9	△793,607	△63.5	△78.1
基本金取崩額	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.7
翌年度繰越収支差額	△483,774	△33.6	△526,692	△39.2	△658,241	△51.3	△793,607	△61.3	△908,733	△72.7	△81.6

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人（医歯系を除く）2年度

※上記以外につきましては、本学ホームページ内、情報公表の11.財務情報に記載しております。  
そちらでご確認ください。(URL: [https://www.tsc-05.ac.jp/about\\_us/jouhou\\_koukai/#](https://www.tsc-05.ac.jp/about_us/jouhou_koukai/#))

## 東京聖栄大学 教育研究施設設備充実募金のお願い

本学は平成17年4月、聖徳栄養短期大学を改組して東京聖栄大学を創立以来、社会の急激な変遷に対応して、着々と健康・栄養・食品の教育に関わる大学としての基盤整備確立に努力し、その成果を挙げてまいりました。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染状況は未だ予断を許さない状況です。

大学生活を安全安心に過ごすための保健管理や環境衛生を良好に保つよう感染防止の取組を進めて、教育機関としての役割を維持するため本学では対面授業を実施しております。

さて、本学では、予てから教育研究の充実を図り、更なる高度化推進を実現するため、「教育研究充実募金」を行ってまいりました。この寄付募金は財政基盤の強化の一環として、広く内外の学園関係者に呼びかけ、積極的に募金活動を実施いたしており、例年募金にご協力くださりまして誠に有難うございました。

なお、この寄付金は教育研究経常費に充てるものであり、出資目的寄付金ではありません。

現在新型コロナウイルスによる厳しい社会・経済情勢のもとでのお願いで誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解を賜り、募金要綱等をご覧いただきまして、寄付募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

この寄付金は、個人の場合は特定公益増進法人への寄付金として所得税法による減免税措置（税額控除）が受けられます。また、法人の場合は、日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金として、寄付金の全額を損金に算入することができます。

### 募金要綱

1. 目的：教育・研究に要する経常的経費に充当するため
  2. 募金目標額：1千万円
  3. 寄付金額：1口 1万円
  4. 募集期間：令和5年3月末まで
  5. 申込書、振込方法：本学所定の用紙をご利用ください
- ◎この寄付金は任意であります。何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◎この募金は、個人の場合は所得税法により税額控除が受けられます。法人の場合は受配者指定寄付金として全額損金に算入することができます。詳細については下記にお問い合わせください。
- 学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係 TEL 03-3692-0211(代)

### 募金申込状況

平成22年度から令和3年度までの募金申込状況は下表のとおりです。  
この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額(円)	年度	申込件数	金額(円)
平成22年度	53	7,665,000	28年度	109	5,935,000
23年度	50	6,790,000	29年度	95	6,490,000
24年度	110	7,910,000	30年度	73	5,930,000
25年度	130	8,395,435	令和元年度	83	6,628,000
26年度	137	6,855,000	2年度	56	5,390,000
27年度	139	8,280,000	3年度	53	6,580,000



## 東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園の活動

幼稚園では、今年こそはと夏の年長組お泊り会を計画していましたが、ところがやはりコロナの影響でギリギリのところまで中止と決断しなくてはならず、園児はもちろんですが保護者も教職員も肩を落としました。そこで、何か心に残る楽しい経験は出来ないかと「わくわく会」を計画致しました。



夕方から登園し、みんなで夕食を共にし、その後は園内探検（数人ずつの簡単な肝試し）、最後に花火大会をするという企画です。夕食メニューはみんなの好きなカレーです。久々の大勢での会食で美味しさも倍増でした。園内探検は目的の場所まで行って合言葉を言うのご褒美がもらえるという内容です。薄暗い中、途中で物音がしたりするので、ドキドキしながら友達と手をしっかりとつなぎ合って頑張る様子がありました。最後は園庭での花

火大会を楽しんで今年の「わくわく会」は終了となりました。

秋には恒例のお芋ほりをしました。学年ごとに日にちを分けて畑に行きました。今年は保護者ボランティアをお願いし、掘り起こしなどのお手伝いをしてもらい助かりました。掘ってきた大きなお芋をみんなでゴシゴシ洗って、お芋パーティーをしました。朝から、かまどに火をつけて大きなお鍋でふかし芋にいただきました。

今年は鎌ヶ谷市のキャラクターの「かまたん」に来てもらい、クイズやじゃんけん遊びなどをして楽しむ企画もありました。友達や先生と熱々のふかし芋、秋の味覚をたくさん味わうことが出来、にこにこ大満足の一日を過ごすことが出来ました。



## 東京聖栄大学附属調理師専門学校活動

令和4年度の教育活動は、新型コロナウイルス感染拡大が終息しない中、感染防止対策の徹底を第一に、生徒達や教職員の学校生活・健康管理および授業の進行の確保をしつつ現在に至っています。

卒業式、入学式においては、コロナ感染拡大防止の観点より来賓や父兄の参加を取りやめ式典内容を卒業証書および各種表彰状の授与、新入生宣誓等に簡略化し、かつ式典会場を2号館内に移すなど人の流れを最小にして実施しました。

教育の現場では、感染拡大が常に懸念される中、コロナ初年度に実施したオンライン形式授業の不便さもなく対面型授業を基本に着実に効果的な授業が進められています。また、専門学校の特色を生かしつつ、生徒には「食の安全を守り推進する担い手」としての役割を各自に逐次理解させ、自ら実践し、責任ある仕事ができる調理師の養成に取り組んでいます。さらに本年度も生徒の調理技術向上を図るために本校卒業生でもあり、東京舞浜ホテル総料理長として業界の第一線で活躍されている稲葉一朗シェフを迎え、自らの体験談や料理に対する情熱を未来の料理人を目指す生徒達に伝えていただきました。9月には浅草かっぱ橋道具街での課外研修を実施し、生徒達は、実習で使用する調理器具の多様性や奥深さを改めて認識し見聞を広められました。

聖栄調理祭は、生徒たちの日頃の学習成果を調理作品として内外へ発表する場であることのほか、レストランやテイクアウト食品など販売を通し「食」を提供する実践・経験の場でもありま

す。反面、多くの人との関わりを生じることから本年度も三密の危険回避のため中止としました。調理作品・展示に代わるものとしては、後期総合実習の中で卒業作品を製作することとし、この調理作品は1年制課程として制約のある中、学んだ調理技術の集大成として教職員審査部門における金賞、日本・西洋・中国料理各部門の優秀な作品の対象として扱うこととしました。この卒業作品製作は、今後も調理祭に代わる行事として充実・定着させていきます。

就職については、コロナ禍で生じた企業・飲食店等の営業活動の制約が通常営業に転じたことから求人需要が活発となり、好調に推移しています。今年度から試行導入している就職支援システムを活用しながら就職担当教員が担任教員と共に個別指導を行い、一人ひとりの生徒が希望する進路を見極め、その目的に合った技術、能力や適性を見据えた職場を紹介しています。

生徒募集に関しては、コロナ禍による飲食業への懸念がなされる中、高校訪問・進学相談会等への参加、生徒募集の中核となる体験入学も予定通り開催し、学校の魅力を直接的に伝えることが出来ました。オンラインによる学校説明会、入学相談会（夜間）も積極的に実施したほか既卒者、社会人対策としてAO入学エントリー期間の拡充さらには外国人留学生や学びなおしの場を求める社会人へのアピールに努めるなど幅広い入学生の募集努力に取り組んでいます。

(写真は昨年度の卒業作品制作の受賞作品)



教職員投票による金賞



学生投票による金賞



佳作：日本料理部門



佳作：西洋料理部門

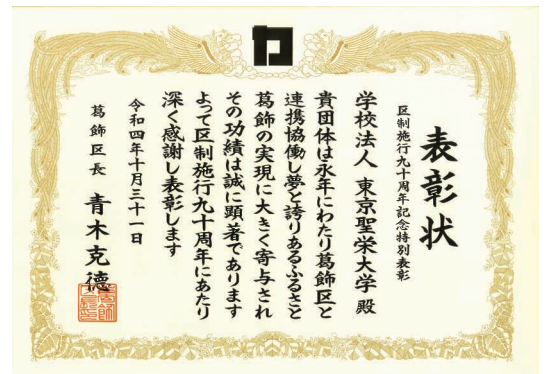


佳作：中国料理部門

## 大学トピックス

### 葛飾区 区制施行90周年にあたり、 本法人が表彰を受賞しました。

本法人本部が所在する東京都葛飾区は、令和4年10月1日に区制施行90周年を迎えましたが、これを記念する式典（R4.10.31）において、本法人は、葛飾区 区制施行90周年記念 特別表彰（団体表彰）を受賞しました。



### 地域のイベント再開（参加協力）

コロナ禍の影響で中止されていた、地域のイベントが3年ぶりに再開となりました。

以下の日程で開催されたイベントに、食品学科に所属している調理技術研修生（3年次生）の学生中心に参加協力しました。当日は、焼きそば・フランクフルト・カレー・おこわ等の製造・販売を行いました。久しぶりのイベントは、参加した学生にとって有意義な地域貢献の機会となりました。

- ・ 8月27日、28日 新小岩駅北口夏祭り
- ・ 10月8日 新小岩駅東北広場まつり2022
- ・ 10月10日 かつしかスポーツフェスティバル2022



## 令和5年度 東京聖栄大学 学生募集要項（抜粋）

### 健康栄養学部（共学）/管理栄養学科・食品学科（募集定員：両学科共80名）

フードサイエンスコース・フードビジネスコース

入試区分	試験日	選抜方法
一般選抜	1期	1月27日（金）
	2期	2月10日（金）
	3期	3月10日（金）
	4期	3月20日（月）
		学力検査（1・2期は2科目受験、3・4期は1科目受験） * 3・4期は調査書も積極的に活用。
総合型選抜（食品学科）	3期	3月10日（金）
		調査書、大学入学希望理由書、面接

入試区分	試験日	選抜方法
大学入学共通テスト利用型	1期	* 本学独自の試験は無し
	2期	
	3期	
	4期	
		大学入学共通テスト成績（1・2期は高得点2科目審査、3・4期は高得点1科目審査） * 3・4期は調査書も積極的に活用。

- \* 上記以外で、「編入学入試（食品学科3・2年次編入）」を実施。【試験日】2期：2/10（金）。
- \* 一般選抜1期は、「入試成績優秀者特待生制度（成績上位者10%以内（最大5名）に対し、入学後300,000円支給）」あり。
- \* 入学願書等は、インターネット出願にて受付。
- \* 各入試区分における出願期間、選抜方法等詳細については本学ホームページ並びに「令和5年度学生募集要項」をご確認ください。

### 高校2、1年生対象 春のオープンキャンパス R5.3/25（土）【開催時間】13：00～16：00\*要予約

総合説明（学科内容・入試概要等）、キャンパス見学、個別相談（入試、授業内容、学生生活、奨学金等）を開催。  
\* 当日の実施内容等詳細は、決定次第本学ホームページよりご案内いたします。

- \* 【オンライン】大学説明会（入試説明会）も随時開催。日程等詳細は、本学ホームページよりご確認ください。

＜お問い合わせ先＞ 入試・広報課 TEL：03-3692-0238（直通） E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp



本学ホームページはこちら